

「GOTOイート」プレミアム付き食事券

県内174カ所で販売開始

新型コロナウイルス感染拡大に対応した政府の飲食業界支援策「GOTOイート」のプレミアム付き食事券の販売が二日、県内百七十四カ所で始まった。初日から大勢の県民らが買い求めている。販売店の一つになっている福島商工会議所は、同会議所が入る福島市のコラッセふくしまで販売する。

県内での販売期間は来年一月三十一日まで。一セット一万円で、一万二千五百円分の食事ができる。来年三月三十一日まで利用可能。購入は一人一回二セットまで。県GOTOイートキャンペーン事務局によると、県内の約千七百店（二日時点で利用できる。県内の販売店は次の通り。



プレミアム付き食事券を買い求める市民＝福島市・コラッセふくしま

- ▽会津信金(18支店)▽支店▽NewDays(全郡山信金(19支店)▽白河(20店)▽マルト(県内23店)
- 信金(13支店)▽須賀川信金(14支店)▽ひまわり信金(17支店)▽あぶくま信金(13支店)▽二本松信金(7支店)▽福島信金(24支店)▽多々方商工会議所
- ▽須賀川商工会議所▽会津商工会議所▽白河商工会議所▽須賀川商工会議所▽会津若松商工会議所▽福島商工会議所

民友
2020年(令和2年)11月3日(火曜日)

県内でも販売が始まった「Go To Eat」プレミアム付き食事券。加盟店や利用者から期待の声が上がる  
＝2日、福島市・ローゼンケラー



**県内スタート 周知に課題も**

食事券の販売が始まったが、キャンペーンに関して既に数件の問い合わせが寄せられているという。道下和幸総支配人(80)は「利用者が集めるような形で展開したい。レストランの利用と併せ、クリスマスケーキやお正月料理の販売にもつながれば」と今後を展望する。

「お店に来てもらえるきっかけになる」。福島市のピアレストラン・ローゼンケラーの小林博子さん(86)はキャンペーンを歓迎す

# Go To Eat 「期待一食」

新型コロナウイルスで打撃を受けた飲食業界を支援する政府の「Go To Eat」で、2日に県内でも販売が始まった。加盟店のプレミアム付き食事券。厳しい経営環境にある飲食店の追い風になる。注目される。一方、本県のキャンペーン事務局には高齢者から食事券に関する問い合わせが相次ぎ、周知に課題も湧き出している。

「店に来てもらえるきっかけ」

「加盟店多く」利用者増へ注文

福島市の福島信用金庫本店。2日は、開店前から列ができる盛況ぶりだった。割り当てられた初回分の3万セットのうち、2期に当たる約6千セットを初日に購入した同市の会社員鈴木信利さん(40)は「地元での飲食店では営業も思われる。経済を回す意味でも協力したい」と力を込めた。

飲食店からは期待の声が上がる。郡山市のホテルハイツでは、ホテル内のレストラン4店舗が参加。新型コロナウイルスの影響で、客数は前年比で半分以下の状態が続

**プレミアム付き 食事券販売店**

----- 信用金庫 -----

- 会津信金 (18店舗)
- 郡山信金 (19店舗)
- 白河信金 (13店舗)
- 須賀川信金 (14店舗)
- ひまわり信金 (17店舗)
- あぶくま信金 (13店舗)
- 二本松信金 (7店舗)
- 福島信金 (24店舗)

----- スーパー・コンビニ -----

- New Days (20店舗)
- マルト (23店舗)

----- 農工商協同 -----

- 福島農協所
- 郡山農協所
- 会津若松農協所
- 白河農協所
- 須賀川農協所
- 会津前多方農協所

10月の売り上げは、東日本台風(台風19号)の影響を受けた昨年と比べても約3割減。小林さんは客足回復に期待を寄せながら「加盟店が少なければ食事券の利用が進む。その上で、県内の飲食店に参入するようにしてほしい」と文意を込めた。

会津若松市・滝花楼の坂本真実さん(44)は「来店客の増加を期待している」と話している。

**紅葉だより**

ふくしま

**磐梯山麓**

中庭のイロハモミジの葉が色づき、訪れた人々を魅了している。小川が流れる中庭を歩くと、今年10月下旬から

**風情ある中庭に彩り**

プレミアム付き食事券の販売が県内でスタート。1万円で1万2500円分利用できる=2日、福島市・ローゼンケラー



# GOTO「食事券」スタート

## 県内60億円分、プレミアム25%

新型コロナウイルスで打撃を受けた飲食業界を支援する政府の「Go To イート」で、購入額に25%分を上乗せするプレミアム付き食事券の販売が2日、県内の8信用金庫や駅のコンビニ「NewDays(ニューデイズ)」などで始まった。【23面に関連記事】

1セット1万2500円分(千円券×10枚と500円券×5枚)を1万円で販売する。来年3月31日まで、食堂やレストラン、居酒屋など県内の加盟店で利用できる。加盟店は2日現在で約1700店舗となり、JTB福島支店などをつくる本県のキャンペーン事務局は3千店舗を目標に申請を受け付けている。

販売期間は来年1月31日まで。12月21日から開始する第2期の販売を含め計48万セット(総額60億円分)を発行し、売り切れ次第終了する。購入は1人1回につき2セットに制限する。加盟店は「Go To Eat キャンペーンふくしま」のホームページ(<https://gotoeat-fukushima.jp/>)で検索できる。

「Go To イート」のうち、インターネットサイトを通じた予約でポイントが付与される事業はすでに展開されている。

# 出だし好調 期待上昇

県内

## 販売所拡充求める声も

### GOTOイート 食事券発売1週間

新型コロナウイルス感染拡大に対応した政府の飲食業界支援策「GOTOイート」のプレミアム付き食事券の販売・利用が県内で始まってから十日で一週間が経過した。県GOTOイート

イートキャンペーン事務局によると、これまでに本県販売分四十八万セットのうち、四分の一に当たる約十二万セットが売れた。事務局は販売状況について「おおむね好調」とみている。



プレミアム付き食事券の利用を呼び掛ける中国四川料理「石林」のスタッフ

県内では支援策の効果で客数の増加が見られる店が出ている。福島市本町の中国四川料理「石林」は、お釣りが出ない食事券を有効活用してもらおうと税込み千円のランチメニューを強調。二〜七日までの六日間で食事券約二十五万円の利用があったという。日比野恒夫社長は「効果は予想以上。四月以降、新型コロナウイルスの影響で売り上げが落ち込んでいたので助かること喜ぶ。一方、現段階で恩恵が感じられないケースも。十月に感染拡大が続いた郡山市のJR郡山駅周辺で飲食店を経営している五十代男性は「客の反応は鈍い」と指摘。食事券の利用は数件のみで新型コロナウイルスで減っていた客足が戻ると思えないという。県内では信用金庫や、JRの駅にあるコンビニ「NewDays」など百七十四カ所で販売しているが、利用者からは食事券の販売場所の拡充を求める声が上がっている。只見町で商店やそば店を営む佐藤順子さんは「雪が降る季節なので町外までわざわざ券を買いに行くのもおっくう」と話す。事務局は十二月中旬に販売開始予定の第二期分(二十四万セット)から販売箇所を増やす方針だ。プレミアム付き食事券は一セット一万円、一万二千五百円分の食事ができる。

福島民友

## 県内GOTOイート食事券 2週間で16万セット販売

飲食業界の支援策「GOTOイート」で、購入額に25%分を上乗せする県内のプレミアム付き食事券は16日現在で約16万セットが販売された。JTB福島支店などでつくる本県のキャンペーン事務局が18日までに、発売から2週間の状況を集計した。

第1期は24万セットを用意したが、既に一部の販売店で売り切れた。事務局は12月21日から始まる第2期の24万セットの一部を融通させて第1期で追加販売することも検討している。

食事券は2日に県内の信用金庫や駅のコンビニ「NewDays(ニューディーズ)」、スーパーのマルト、商工会議所で販売が始まり、現在は道の駅やイオンなどでも取り扱っている。

食事券が使える県内の食堂やレストラン、居酒屋などの加盟店は18日現在で約2500店舗に増えた。

販売店と加盟店は「GOTO Eat キャンペーンふくしま」のホームページに掲載されている。